

東京慈恵会医科大学葛飾医療センター

住所：〒125-8828 東京都葛飾区青戸 6-41-2

TEL：03-3606-2111

HP：<http://www.jikei.ac.jp/hospital/katsushika/aboutus.html>



リハビリテーション科医師(令和2年6月現在)

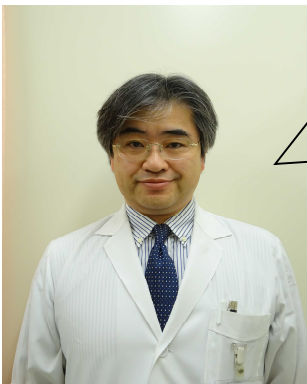
責任者：診療部長・教授・専門医・指導医 小林一成(慈恵医大S59卒)

：レジデント

内山紫央李(秋田大H30卒)

総病床数：369床、診療科数：26科

理学療法士6名、作業療法士3名、言語聴覚士2名



責任者からのコメント

リハビリテーション（以下、リハ）医学は生活する人間を診る医療です。原因は多岐にわたりますが、疾患では中枢神経疾患・骨関節疾患・脊髄損傷・切断・神経筋疾患・循環呼吸器疾患などにより動くことが困難になることが多く、また加齢による障害も重要です。当院は大学附属の地域総合病院であり、各種疾患の特に急性期リハ医療を経験することが可能です。また、369床の中規模病院の良さを生かして、各診療科同士の連携が密で、リハスタッフ間と病棟とは勿論のこと、診療科医師を含めたチーム医療を経験できます。

研修病院としての特徴

1. 大学附属総合病院です

369床の地域中核急性期病院であり、各種疾患の治療が行われています。したがって、脳血管障害や整形外科疾患は勿論のこと、呼吸器疾患や循環器疾患、各種癌疾患や手術前後を含めた急性期リハの経験を積むことが可能です（年間院内依頼新患数 約2000例）。他診療科と連携をとりながら急性期に特化したリハ治療を経験できます。

2. 包括的なリハビリテーション治療が可能です

理学療法士6名、作業療法士3名、言語聴覚士2名というこじんまりとした体制ですが、診療科別では整形外科、神経内科、脳外科と、また疾患別では癌リハ、呼吸器リハについて、隔週でカンファレンスを行い、院内で連携をとりながら効率的なチーム医療を心がけています。リハ医療では、主治医、看護師、ソーシャルワーカーなどの関連職種との連携も重要であり、それをスムーズに行うことによって、患者一人一人にあった、包括的リハ治療が可能になります。

3. 自然豊かな下町情緒溢れるロケーションです

都心へも30分程度で出られる郊外に位置し、中川の土手のすぐ横に建つ自然豊かなロケーションにあります。また、葛飾柴又や浅草にも近く、下町情緒に溢れる場所にあります。このため患者さんには人情溢れる方も多く、医者―患者関係を考える良い機会を提供できるものと考えています。

最後に

慈恵医大の学是である「病気を診ずして、病人を診よ」を実践できる医療がリハ医療だと思います。苦しんでいる人を丸ごと診る醍醐味を是非いっしょに体験したいと思います。

東京慈恵会医科大学
リハビリテーション医学講座